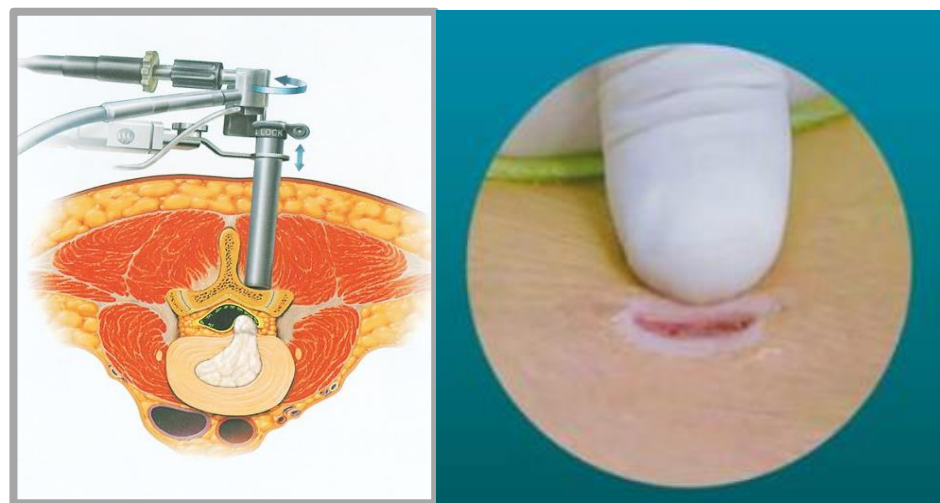


# かえる倶楽部タイムズ

## 特集「腰椎椎間板ヘルニア治療の最前線」

腰椎椎間板ヘルニアは若年者から青壮年期に好発する頻度の高い疾患であり、腰痛や足の痛み・しびれが生じます。

基本的には数か月の保存治療(内服やブロック注射など)で軽快する事が多いですが、早期除痛や早期の社会復帰を希望され手術を受けられる患者さんが多数おられます。



MED (Micro Endoscopic Discectomy: 従来の内視鏡下椎間板切除術)  
20mm程度の皮膚切開にて手術が可能

また、2021年からは、従来の内視鏡をより低侵襲化した**FED(Full-endoscopic discectomy: 全内視鏡下椎間板切除)**とよばれ、8mmの皮膚切開でより短期の入院で早期社会復帰が可能な手術法(バンドエイドサージェリー)を導入しました。

これまでの内視鏡で到達できなかった部位のヘルニアに対しても摘出が可能となり、水を還流した中で操作行うため、これまでのような電気メスなどで組織の焼灼・熱傷のダメージが無いため、従来の内視鏡よりも、術後の疼痛が本当に少なくなりました。



FED (Full endoscopic discectomy: 全内視鏡下椎間板切除術)  
8mm程度のバンドエイドで覆える創部で、よりピンポイントでヘルニアに到達して切除します

また入院期間も短縮されおよそ3-5日間程度です。

ただし手術の目的は安全かつ確実に手術を遂行することであり、年齢やヘルニアの場所、大きさによって内視鏡手術が適さない場合もありますので、詳しくは整形外科外来担当医にご相談下さい。

【連絡先】 平日 8:30~17:00、土曜日 8:30~12:00 地域医療連携室 (電話)06-7501-1406

上記以外の時間帯は、代表電話 06-6458-5821 へご連絡下さい。

## お知らせ 「総合診断科」のご案内

関西電力病院では、患者さんにご紹介頂く先生方の利便性向上を目的として「総合診断科」を開設しております。診療科の特定が困難等、お困りの際は是非ご紹介下さい。

【ご紹介頂く対象となる患者様】

不明熱や、症状・病変が複数臓器にまたがる疾患等、診療科の特定が困難、あるいは複数の診療科への紹介が必要な患者さんをご紹介下さい。

当院病院長が中心となって診療を担当し、診断結果に基づいて適切な専門診療科へ繋がります。

【診療日程】 火曜日(午前)

◎ご紹介頂く際は、地域医療連携室までお申し込み下さい。

